



お知らせ

「1%支援制度シンポジウム」開催します！ 「生駒発！参画と協働のまちづくり」

市民の市民活動に対する理解と関心を高めることと、市民相互による協働のまちづくりをめざし全国で実施されている「1%支援制度」。生駒市では「市民が選択する市民活動団体支援制度」として平成23年度よりスタート。

この制度や、制度のめざすところをより多くの方に知っていただくために、そして、この制度を意義あるものにしていくために「1%支援制度シンポジウム」を開催します。

- 開催日 平成24年6月30日(土) 13時30分～16時30分（開場13時）
- 場 所 生駒市コミュニティセンター 文化ホール（セイセイビル内）

オープニング

挨拶 生駒市長 山下 真

第1部 13:40～14:25 記念講演 「参画と協働から生まれるまち」

生駒市市民活動団体支援制度審査会会長 帝塚山大学大学院法政政策研究科教授 なかがわ 中川 いくお 幾郎 氏

第2部 14:30～15:30 先進地からの報告「NPOが支える 1%支援制度 一宮市の場合」

いちざんはち 138NPO～一宮の市民活動育ちあいネット～事務局長 ほしの ひろし 星野 博 氏

第3部 15:45～16:30 「ともに作り上げる制度」

解説：生駒市市民活動団体支援制度審査会

募集中

子どもの心をケアする 講座 & ワークショップ^o - 東日本大震災におけるNPOの取組から

大切な人、大切な思い出の品々、大好きな風景、ずっと続くと信じていた日常——あまりにも突然に、奪われたあの日。

心の痛みは、時間の経過とともに強まってくるといわれています。

不安感、孤立感、無力感を抱え、今を、これからを生きる子どもたちに寄り添う活動から、支援のあり方を学びませんか。

- 開催日 平成24年7月28日(土) 13時30分～16時30分（受付13時）
- 場 所 生駒市コミュニティセンター 4階会議室（セイセイビル内）

<講師> くまがい えりこ 熊谷 恵利子さん 特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

<内容>・報告「東日本大震災におけるクリニックラウンの特別派遣」
・ワークショップ「支援者のためのコミュニケーションスキル」

クリニックラウンとは、「クリニック（病院）」と「クラウン（道化師）」を合わせた造語で、臨床道化師といいます。入院中の子どもたちの病室を定期的に訪問し、遊びと豊かなコミュニケーションを通して子どもたちが、その子どもらしく過ごせる時間を届けています。2011年度は、全国35病院を訪問し、年間288回、およそ1万人の子どもたちと関わりました。

「さくらの会」竹田 幸子さん (60代) に聞きました

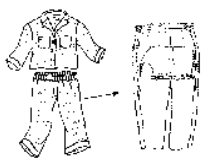
さくらの会は平成6年春、(社福)生駒市社会福祉協議会主催のボランティア講座の修了生で立上げたボランティア団体。当時は、まだボランティアが関わっていなかった高齢者施設でのお手伝いと、高齢者を介護する際に必要な品の手作り、この二つを活動の柱としてスタートした。『笑顔を共に』をキャッチフレーズに**それぞれ自分が関わること、出来ることを行い**、活動を通じて喜びや感動を共にすることを目的にしている。

現在、高齢者施設での活動はレクリエーション活動が中心で、懐メロや唱歌を歌って手指を動かし、手ぬぐい体操なども行いながら、利用者とのコミュニケーションをとり、楽しくすごす時間を共有している。

介護衣とは、介護を受ける人がその人らしく、暮らしやすいように、また、介護する人が介護しやすいよう工夫された衣服のことで、介護用品とは利用することで安楽な体位が保てたり、床ずれや関節の強ばりなどの防止に役立つもののこと。それらの製作では“その人”に合うように仕立てることが基本。既製品はたくさんあるが“ほんの少しの不便さ”から、ひと工夫のリフォームが必要な場合が多い。

例えば、介護衣は着替えやすいように服の脇をひらく、ボタンをファスナーやマジックテープに変えるなどリフォームし、ビーズマットやにぎりっこなどの介護用品は、症状に応じて大きさや型、生地と中味のビーズの量を調整している。

対象は、高齢者だけではなく介護が必要な障がい児・者へも広がっている。



介護衣の一例

床ずれ予防
ビーズマット

にぎりっこ

さくらの会の介護衣・介護用品製作の窓口の竹田さんに、ご自身が活動を始めたきっかけや思いをうかがった。

竹田さんは50歳になるのを機に「**これからはやいがいのあることをしたい**」と準備を始め、平成10年にヘルパー資格を取得した。同じ頃“介護衣を作る講習会”に参加、そこで介護用品を持って活動を紹介した「さくらの会」と出会い、「今までは介護用品だけだったけど、これからは介護衣も作りたい」の言葉を聞き、「**高齢者に関わり、ミシンの技術を活かせる活動が生駒にある!**」と感動。その日のうちに活動見学の日取りを決め、見学した後、即入会した。

幼いころから手作りが好きで、忙しい母に代り、小学生の頃から家にあった足踏みミシンを見よう見真似で踏み始めた。結婚した後も幾度か転居したが、家の中には必ずミシン部屋があり、生活の傍らには常にミシンがあった。中でも知り合いから頼まれた既製の“お直し”の経験はさくらの会の活動にとっても役立っていると感じている。物事をひとつやり終ってから、次にまた一から始めるのではなく、しんどいかもかもしれないけれど、ちょっと前から準備を始めたことで、得意なミシンの技術を活かせ、**やいがいがある活動に出会えたことは、とても幸せだった。**

中でも、「息子の結婚式に出席したい」と男性から相談され、車椅子に座ったままでも着用できるよう礼服をリフォームしたことで「思いがかなった」と喜びの声が届いたことや、寝たきりの女性に、可愛いサクラ柄の生地で作ったパジャマを渡した後、女性のご家族の喜びの言葉を聞いたことが、忘れられない活動となった。

「**こんな活動をしている団体が生駒にあるよ**」ということをもっと沢山のの人に知って欲しい、そして利用することで**みんなが笑顔になって欲しい**と笑顔で語られた。



竹田 幸子さん ららポートにて

インタビュー：藤川尚子(ららポート ボランティアコーディネーター)

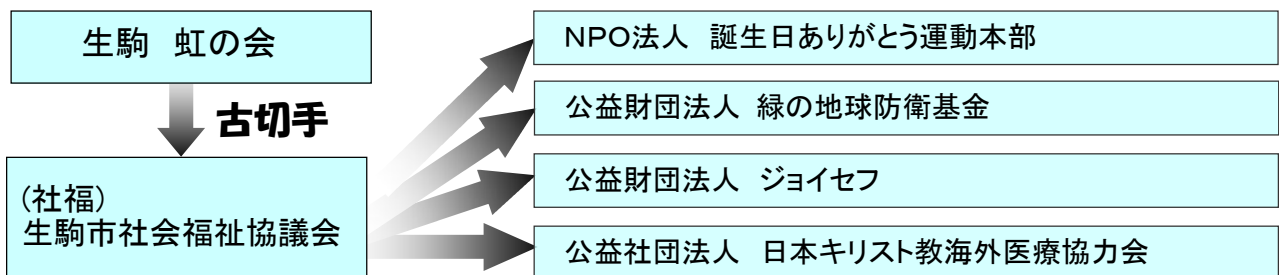
「生駒虹の会」では、活動の一つとして**使用済み切手(古切手)を月1回(第3木曜)回収・整理**し、(社福)生駒市社会福祉協議会(社協)に届けています。社協に届けられた使用済み切手は、開発途上国で推進する妊産婦と赤ちゃんの命と健康を守る活動や、アジア・アフリカへの医療支援などに役立てられています。

また生駒虹の会は、月1回生駒市健康課が開催する「はじめての離乳食講習会」で保護者が実習に参加している間、**生後4～5ヶ月の赤ちゃんの見守り保育活動**や、月2回子どもサポートセンターゆうがが開催する「**ゆうゆうひろば**」で**2才児の保育サポートと同伴児の託児活動**を、また依頼があれば、小さなお子さん対象の**人形劇**も随時行っています。

●連絡先…生駒虹の会 代表 ひのとしこ 日野淑子さん
TEL/0743-74-0364(午後6時～9時まで)



▲使用済み切手回収場所
・ららポート1階カウンター
・福祉センター ロビー



* 回収にご協力ください *

- ・切手は、周りを1センチほど残して台紙ごと切り取ってください
- ・切手と消印は、すべて残して切り取ってください
(郵便局名や日付のある消印は収集家の対象にもなっています)

皆様のご家庭にある
使用済み切手が役立ちます！
ご協力をお願いします

* * * * * * * * * * * * * * * *

登録団体イベント募集

ボランティア 情報

(特活)いこま国際交流協会 ikoryu 韓国文化講座 一日体験

- ◆日時/6月16日(土)10時30分～12時 ◆場所/ららポート 研修室 ◆対象/生駒市及び周辺地域の市民
- ◆内容/外国人市民といっしょに韓国語や韓国文化を楽しく学ぶことを通して、相互理解を深め、信頼と交流の輪を広げていきます ◆参加費/500円 ◆定員/15人程度
- ◆問合せ・申込み/参加者の名前、住所、電話番号、年齢を書いて、6月11日(月)までに、FAXか電子メールでNPO法人いこま国際交流協会文化講座係 (TEL/FAX: 0743-78-6491、e-mail:entry@ikoryu.net)まで

メンバー募集情報

グリーンボランティア「いこま宝の里」 メンバー募集

“街なかのみどりを守ろう！”を合言葉に、散歩や森林浴を楽しめる憩いの森作りをめざし、イモ山公園の樹林をホームベースとして、街なかのみどりの保全活動をしています。女性メンバーも活躍しています

- ◆定例活動日/毎月第2土曜日 ◆場所/イモ山公園樹林 ◆年会費/2,000円 ◆会員/33名
- ◆問合せ/磯貝猛さん TEL:090-6170-8343、e-mail: t-isogai@jn5.so-net.ne.jp

登録団体イベント情報

生駒の地域医療を育てる会 ヨーガの講演と実技指導

- ◆日時/6月29日(金)13時30分～15時30分
- ◆場所/ららポート 研修室 ◆内容/市民による健康づくりの為の実習講座「呼吸法に重点を置いたシニア向け健康ヨーガ」講師は安井健二さん
- ◆持ち物/バスタオル、脱水予防のための飲み物、簡単な運動ができる服装でお越し下さい
- ◆参加費/無料 ◆定員/20人(要申込み・先着順)
- ◆申込み/伊木まり子さん TEL:0743-73-2828

お知らせ

「生駒市民が選択する市民活動団体支援制度」 「1%支援制度ギャラリー」で、支援したい事業を見つけよう！

18歳以上の生駒市民^(*)が、支援したい市民活動団体を選ぶ「生駒市民が選択する市民活動団体支援制度」。

対象団体の紹介ポスターと支援制度のしくみのパネルを、下記6か所で巡回展示します。併せて、選択の届出もできますので、是非、お立ち寄り下さい。

- ① **6月30日(土)** コミュニティセンター
- ② **7月2日(月)～7月6日(金)** 生駒市役所
- ③ **7月7日(土)～7月13日(金)** 図書館
- ④ **7月14日(土)～7月20日(金)** 南コミュニティセンターせせらぎ
- ⑤ **7月21日(土)～8月3日(金)** 中央公民館(7月1日より、たけまるホール)
- ⑥ **8月4日(土)～8月10日(金)** 北コミュニティセンター^{イスタ}はばたき

*平成24年6月1日現在、生駒市の住民基本台帳に記録されているか、外国人登録原票に登録されている住所が生駒市にある年齢18歳以上の人

- 支援対象となった団体の事業は、広報いこま7月1日号と同時に配布、配架される「支援対象団体紹介冊子」でもご覧いただけます。
- 市ホームページの「生駒市民が選択する市民活動団体支援制度」のページ^(*)で、申請書等のデータをご覧いただけます。(6月下旬からは、動画も配信します)
* <http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/01400/11/06.html>
- 市役所(4階市民活動推進課)、市民活動推進センターららポートで事業申請書等をご覧いただけます。

支援したい事業を見つけたら…

選択の届出

支援したい事業を選ぼう！

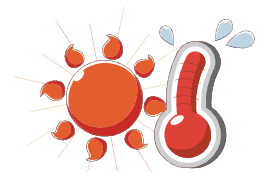
選択の届出は、**6月29日(金)～8月10日(金)まで!**

※詳細は「支援対象団体紹介冊子」をご覧ください。

ららポートご利用の皆さまへ

いつも節電にご協力いただきありがとうございます。
ららポートの平成23年度の電気使用量は、
前年度比**11.4%減**となりました。

今後も引き続き、節電にご協力をお願いいたします。



〈室内温度〉

夏は**28℃**で

編集後記

5月21日の金環日食、ご覧になりましたか? 黒い観測グラスを準備し、空を見上げた方も多いかと思えます。173年ぶりの世紀の天体ショーということで「これは見とかなあかん!」とにわかに準備し観察。しだいに太陽が欠け、金冠リングが輝き、また形を取り戻していく。宇宙のなかの自分を感じ感無量、涙ができました。〈い〉

■生駒市市民活動推進センター ららポート

〒630-0257 奈良県生駒市元町1丁目7番6号

TEL:0743-75-6000 FAX:0743-75-0151

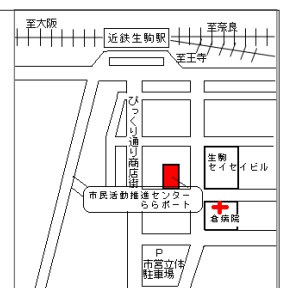
e-mail: lalaport@city.ikoma.lg.jp

開館日時 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

休館日 日曜日・祝日・年末年始

※オストメイトトイレがあります

※公共交通機関でお越し下さい



●ららポート登録団体 56団体 [構成人数 1,818人] (5月1日現在)